

株式会社佐藤金属

〒989-2421

宮城県岩沼市下野郷字中野馬場34番48

電話 0223-23-4661

Fax 0223-23-4662

# 環境報告書

2024年度

期間: 2024年9月～2025年8月

発行: 2025年9月10日

## 適用範囲

### I. 組織概要

項目 詳細

事業所名 株式会社 佐藤金属

所在地 宮城県岩沼市下野郷字中野馬場 34 番地の 48

事業の概要 金属再資源化、卸売、産業廃棄物処理業

沿革

- 1973年2月 株式会社佐藤金属設立(宮城県仙台市)
- 1993年8月 宮城県特別管理産業廃棄物収集運搬業 許可取得
- 1995年10月 福島県産業廃棄物収集運搬業 許可取得
- 1995年11月 山形県産業廃棄物収集運搬業 許可取得
- 1996年8月 宮城県岩沼市に事業所開設
- 1998年11月 宮城県収集運搬業 許可取得
- 2000年4月 宮城県産業廃棄物処分業 許可取得
- 2004年8月 岩手県産業廃棄物収集運搬業 許可取得
- 2004年12月 宮城県産業廃棄物再生事業者に登録
- 2008年8月 電子マニフェスト利用開始
- 2009年10月 宮城県岩沼市に本店を統合
- 2015年6月 青森県産業廃棄物収集運搬業 許可取得
- 2017年5月 秋田県産業廃棄物収集運搬業 許可取得
- 2020年4月 宮城県産業廃棄物処分業 優良産業廃棄物処理業者認定
- 2021年1月 宮城県産業廃棄物処分業 破碎施設の入替えによる許可証書書換え
- 2021年10月 栃木県産業廃棄物収集運搬業 許可取得
- 2023年8月 新潟県産業廃棄物収集運搬業 許可取得
- 2023年9月 埼玉県産業廃棄物収集運搬業 許可取得

資本金 1,000万円

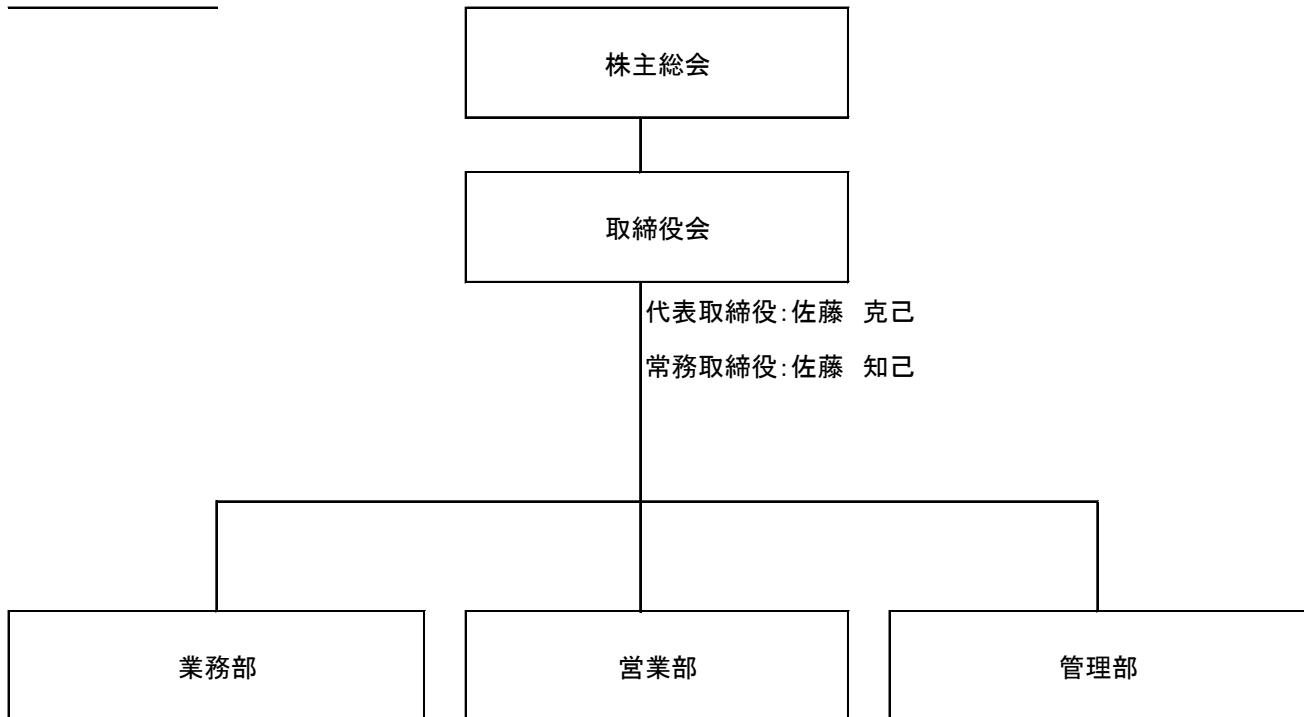
従業員数 18名

売上高 344,864 千円(2024年8月決算)

敷地面積 敷地面積: 3,638.57 m<sup>2</sup>  
延床面積 事務所延床面積: 647.71 m<sup>2</sup> 処理工場延床面積: 1808.02 m<sup>2</sup>  
合計延床面積: 2,455.73 m<sup>2</sup>

## 組織図

### ○組織



### ○人員配置

(2025年7月現在)

	業務部	営業部	管理部	合 計
役員	0名	1名	1名	2名
正社員	6名	3名	2名	11名
パート	7名	0名	0名	7名
合計	13名	4名	3名	20名

## 2. 産業廃棄物処理業に関する情報

### 処理業許認可

分類	処理業分類	中間処分 【破碎】	収集運搬							
			宮城県	宮城県	岩手県	山形県	福島県	青森県	秋田県	栃木県
行政	宮城県									
許認可番号	-	00462006333	-	-	-	-	-	-	-	-
有効期限	-	令和5年8月16日 令和12年8月15日	-	-	-	-	-	-	-	-
特別管理産業廃棄物	燃え殻	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	汚泥	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	廃油	-	○	-	-	-	-	-	-	-
	廃酸	-	◎	-	-	-	-	-	-	-
	廃アルカリ	-	◎	-	-	-	-	-	-	-
	ばいじん	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	廃石綿等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
分類	許認可番号	00422006333	00412006333	00300006333	00609006333	00707006333	00201006333	00506006333	00900006333	
	有効期限	令和2年4月11日 ～ 令和9年4月10日	令和5年11月18日 ～ 令和12年11月17日	令和6年8月27日 ～ 令和13年8月26日	令和2年11月14日 ～ 令和9年11月13日	令和2年12月14日 ～ 令和9年11月12日	令和2年6月12日 ～ 令和9年6月8日	令和4年5月2日 ～ 令和11年5月1日	令和3年10月12日 ～ 令和8年10月11日	
産業廃棄物	燃え殻	-	○	-	-	-	-	-	-	-
	汚泥	-	○	-	-	○	○	○	-	-
	廃油	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	廃酸	-	○	-	-	-	-	-	-	-
	廃アルカリ	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	廃プラスチック類	○	◎	○	○	○	○	○	○	○
	紙くず	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	木くず	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	繊維くず	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	動植物性残さ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ゴムくず	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	金属くず(自動車等 破碎物を除く)	○	◎	○	○	○	○	○	○	○
	ガラスくず・コンクリー トくず及び陶磁器くず	○	◎	○	○	○	○	○	○	○
	鉱さい	-	○	-	-	-	-	-	-	-
	がれき類	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	ばいじん	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	石綿含有産業廃棄 物	-	◎	-	○	○	○	○	○	○
	水銀使用製品産業 廃棄物	-	◎	○	○	○	○	○	○	○

分類	処理業分類	収集運搬						
		新潟県	埼玉県					
	行政	新潟県	埼玉県					
	許認可番号	01509006333	01100006333					
産業廃棄物	有効期限	令和5年8月30日 ～ 令和10年8月29日	令和5年9月11日 ～ 令和10年9月10日					
	燃え殻	-						
	汚泥	-						
	廃油	○	○					
	廃酸							
	廃アルカリ	○	○					
	廃プラスチック類	○	○					
	紙くず	○	○					
	木くず	○	○					
	繊維くず	-						
	動植物性残さ	-						
	ゴムくず	-						
	金属くず(自動車等 破碎物を除く)	○	○					
	ガラスくず・コンクリー トくず及び陶磁器くず	○	○					
	鉱さい	-						
	がれき類	○	○					
	ばいじん	-						
	石綿含有産業廃棄物	○	○					
	水銀使用製品産業 廃棄物	○	○					

○:許可品目

◎:積替保管許可品目

積替保管所在地:宮城県岩沼市下野郷字中野馬場 34 番地の 48

積替保管面積:7m<sup>2</sup>

保管の高さ:1m

保管上限量:7m<sup>3</sup>【廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、廃酸(pH2.0以下のもの)、廃アルカリ(pH12.5以上のもの)各1m<sup>3</sup>】

**運搬施設の種類、数量、低公害車の導入状況**  
**(2025年3月 現在)**

**【運搬施設の種類、数量】**

No.	車両形式	寸法 L×W×H(mm)	積載量	保有数
1	平ボディ車(クレーン付)	9360×2480×2970	7,500kg	1
2	平ボディ車(クレーン付)	6190×2230×2730	3,450kg	1
3	平ボディ車	8440×2300×2710	8,300kg	1
4	脱着装置付コンテナ車	6190×2210×2400	3,700kg	1
5	軽バン	3390×1470×1870	350kg	1
6	軽バン	3390×1470×1890	350kg	1

**【低排出ガスの導入状況】**

運搬車の排ガスレベル	台数	割合
全保有台数	6	100.0%
①平成 21 年基準適合/排出ガス 10%低減車☆	1	16.7%
②平成 28 年規制適合車	2	33.3%
③平成 30 年規制適合車	1	16.7%
④平成 30 年規制適合車/排出ガス 50%低減車☆☆ ☆☆	1	16.7%

**【低燃費車の導入状況】**

運搬車の燃費低減レベル	台数	割合
全保有台数	6	100%
①平成 27 年度燃費基準達成車 5%向上レベル	1	16.7%
②平成 27 年度燃費基準達成車 10%向上レベル	1	16.7%
③平成 27 年度燃費基準達成車	2	33.3%
④令和 4 年度燃費基準達成車	1	16.7%

株式会社 佐藤金属

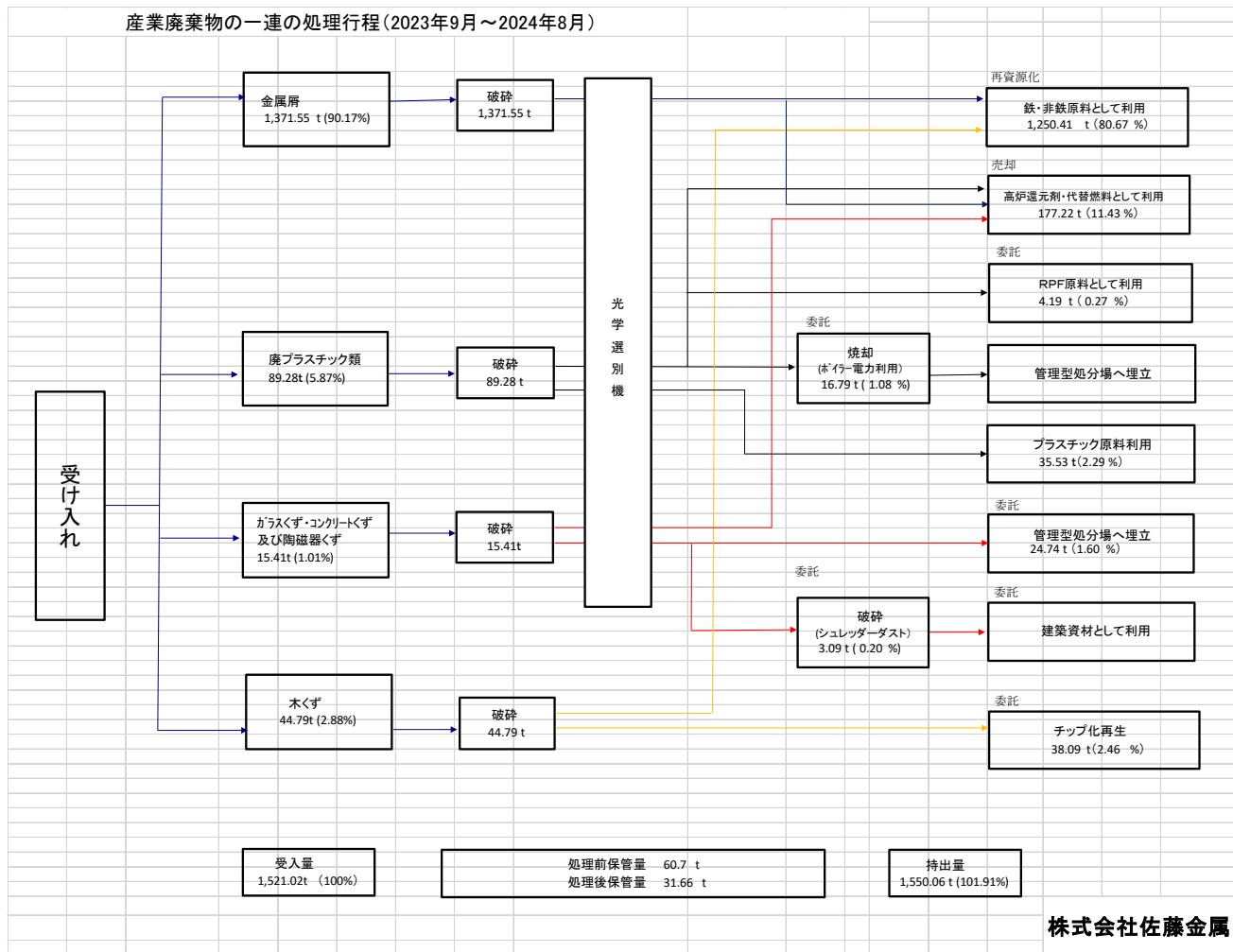
## 中間処理能力及び設備概要

品目	処理能力	設備概要
廃プラスチック類	4.8t/日	破碎
木くず	4.72t/日	破碎
金属くず (自動車等破碎物を除く)	16.56t/日	破碎
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	14.64t/日	破碎

## その他の設備

品名	メーカー名	型式	性能(最大荷重)
エンジン式フォークリフト	トヨタ	50-8FD25	1,800kg
エンジン式フォークリフト	トヨタ	8FDK30	1,450kg
低騒音型建設機械	コベルコ建機	YDM-PS04/PH09	29.1kw
天井走行クレーン	日本ホイスト	NHEELWIT	1.5t
天井走行クレーン	日本ホイスト	NHEELWIT	1.5t
天井走行クレーン	日本ホイスト	NHEELW3T	2.8t

## 処理工程図



## 処理実績(単位トン)

分類	2022 年度 2022 年 9 月～2023 年 8 月	2023 年度 2023 年 9 月～2024 年 8 月	2024 年度 2024 年 9 月～2025 年 8 月
特別管理産業廃棄物収集運搬	3.64 トン	7.63 トン	15.99 トン
産業廃棄物収集運搬	1,387.25 トン	1,272.68 トン	1,457.04 トン
産業廃棄物中間処理	1,588.82 トン	1,521.02 トン	1,469.65 トン

## 廃棄物の処理料金

運搬距離、廃棄物内容、回収形態等により、都度見積もりをおこなう。

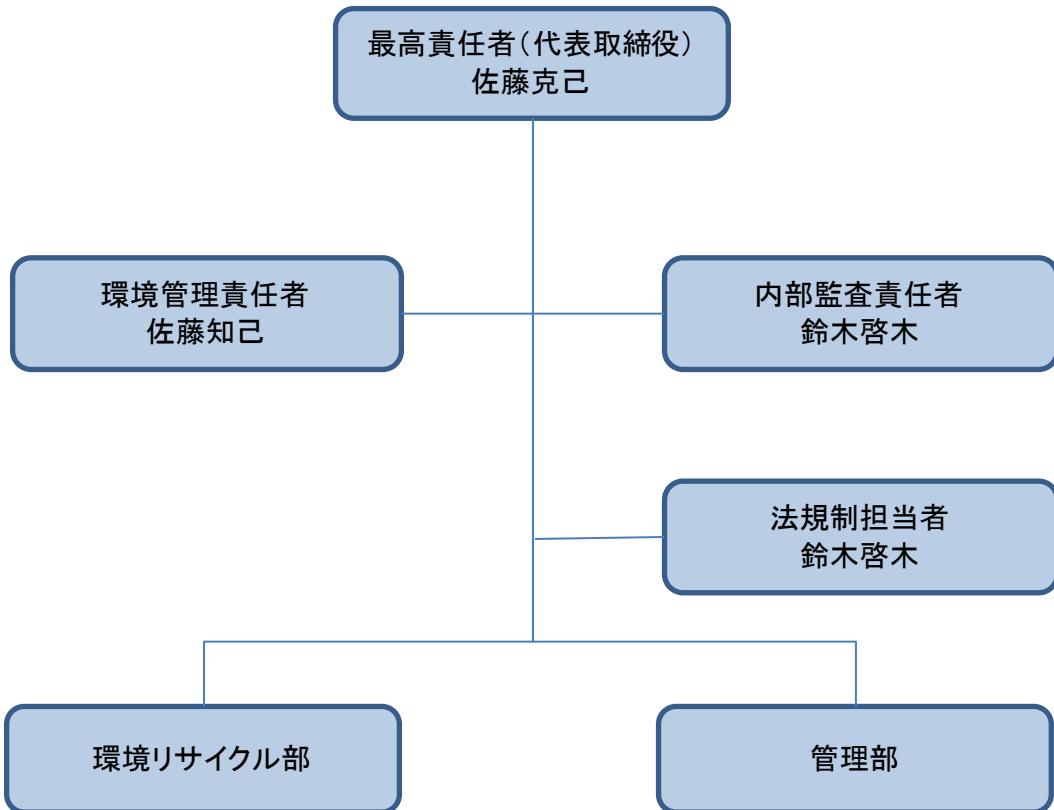
【収集運搬実績】														2024.9.1～2025.8.31 (単位:t)	
産業廃棄物の種類	運搬方法	受入量・運搬量	24/9月	10月	11月	12月	25/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	品目合計
燃え殻	運搬車	受入量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		運搬量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
汚泥	運搬車	受入量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.670	0.000	54.850	0.000	0.000	0.570	0.470	0.010	56.570
		運搬量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.670	0.000	54.850	0.000	0.000	0.570	0.470	0.010	56.570
廃油	運搬車	受入量	1.212	1.285	0.774	0.660	0.021	0.243	0.910	0.592	0.867	0.013	0.928	0.361	7.866
		運搬量	1.212	1.285	0.774	0.660	0.021	0.243	0.910	0.592	0.867	0.013	0.928	0.361	7.866
廃酸	運搬車	受入量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		運搬量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
廃アルカリ	運搬車	受入量	0.000	0.081	0.000	0.090	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.045	0.216
		運搬量	0.000	0.081	0.000	0.090	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.045	0.216
廃プラスチック類	運搬車	受入量	15.080	19.375	6.720	6.890	21.400	15.235	14.715	14.790	9.990	15.080	10.380	13.780	163.435
		運搬量	15.080	19.375	6.720	6.890	21.400	15.235	14.715	14.790	9.990	15.080	10.380	13.780	163.435
木くず	運搬車	受入量	7.650	4.030	1.180	3.440	4.280	4.020	8.980	6.710	24.820	2.840	11.580	5.670	85.200
		運搬量	7.650	4.030	1.180	3.440	4.280	4.020	8.980	6.710	24.820	2.840	11.580	5.670	85.200
金属くず	運搬車	受入量	96.360	78.130	72.540	71.593	64.500	74.609	100.279	107.360	70.420	93.180	74.310	72.520	975.801
		運搬量	96.360	78.130	72.540	71.593	64.500	74.609	100.279	107.360	70.420	93.180	74.310	72.520	975.801
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	運搬車	受入量	1.480	13.580	7.060	7.572	1.400	4.730	3.440	3.600	4.870	0.770	2.336	5.320	56.158
		運搬量	1.480	13.580	7.060	7.572	1.400	4.730	3.440	3.600	4.870	0.770	2.336	5.320	56.158
紙くず	運搬車	受入量	0.030	0.280	0.150	0.140	0.040	0.120	0.360	0.090	0.300	0.880	0.450	0.920	3.760
		運搬量	0.030	0.280	0.150	0.140	0.040	0.120	0.360	0.090	0.300	0.880	0.450	0.920	3.760
鉱さい	運搬車	受入量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		運搬量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
がれき類	運搬車	受入量	3.040	7.120	16.240	0.510	47.390	0.148	1.220	0.150	3.830	7.290	4.260	16.700	107.898
		運搬量	3.040	7.120	16.240	0.510	47.390	0.148	1.220	0.150	3.830	7.290	4.260	16.700	107.898
水銀使用製品産業廃棄物	運搬車	受入量	0.000	0.000	0.003	0.047	0.000	0.000	0.000	0.029	0.000	0.000	0.060	0.000	0.139
		運搬量	0.000	0.000	0.003	0.047	0.000	0.000	0.000	0.029	0.000	0.000	0.060	0.000	0.139
合計 運搬量			124.852	123.881	104.667	90.942	139.701	99.105	184.754	133.321	115.097	120.623	104.774	115.326	1457.043
特別管理産業廃棄物の種類	運搬方法	受入・運搬量	24/9月	10月	11月	12月	25/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	品目合計
廃酸	運搬車	受入量	0.000	0.485	0.000	1.810	0.000	8.860	0.350	1.915	0.000	0.000	2.400	0.000	15.820
		運搬量	0.000	0.485	0.000	1.810	0.000	8.860	0.350	1.915	0.000	0.000	2.400	0.000	15.820
廃アルカリ	運搬車	受入量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		運搬量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
廃油	運搬車	受入量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.018	0.000	0.000	0.120	0.018	0.010	0.166	
		運搬量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.018	0.000	0.000	0.120	0.018	0.010	0.166	
合計 運搬量			0.000	0.485	0.000	1.810	0.000	8.860	0.368	1.915	0.000	0.120	2.418	0.010	15.986

【中間処理実績】														2024.9.1～2025.8.31 (単位:t)
産業廃棄物の種類	受入量/処分方法/残さ量	23/9月	10月	11月	12月	24/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
金属くず	受入量	116.810	111.390	107.990	124.730	102.790	99.420	124.360	145.200	94.430	115.260	107.190	85.470	1335.049
	破碎	116.810	111.390	107.990	124.730	102.790	99.420	124.360	145.200	94.430	115.260	107.190	85.470	1335.049
	残さ量	14.420	7.190	13.810	11.400	9.830	8.290	10.209	13.040	10.750	13.570	7.420	10.340	130.269
廃プラスチックチック類	受入量	7.830	5.400	2.710	3.780	5.780	11.310	10.610	5.520	3.770	8.600	5.490	6.420	77.220
	破碎	7.830	5.400	2.710	3.780	5.780	11.310	10.610	5.520	3.770	8.600	5.490	6.420	77.220
	残さ量	4.800	5.725	1.920	2.220	5.120	2.535	3.600	7.170	5.170	4.095	1.730	5.990	50.075
ガラスくず及び陶磁器くず	受入量	1.470	2.310	0.990	2.760	0.180	0.730	0.890	1.400	0.870	0.270	0.140	0.140	12.150
	破碎	1.470	2.310	0.990	2.760	0.180	0.730	0.890	1.400	0.870	0.270	0.140	0.140	12.150
	残さ量	0.000	5.270	6.060	1.780	1.220	4.000	0.050	1.170	3.000	0.000	1.220	5.000	28.770
木くず	受入量	3.880	3.090	1.340	1.660	2.630	2.280	4.970	2.870	12.840	1.600	5.400	2.670	45.230
	破碎	3.880	3.090	1.340	1.660	2.630	2.280	4.970	2.870	12.840	1.600	5.400	2.670	45.230
	残さ量	3.288	2.618	1.135	1.406	2.228	1.931	4.211	2.431	10.879	1.355	4.575	2.262	38.319
月別合計	受入量	129.990	122.190	113.030	132.930	111.380	113.749	140.830	154.990	111.910	125.730	118.220	94.700	1469.65
	処分量	129.990	122.190	113.030	132.930	111.380	113.749	140.830	154.990	111.910	125.730	118.220	94.700	1469.65
	残さ量	22.508	20.803	22.925	16.806	18.398	16.756	18.070	23.811	29.799	19.020	14.945	23.592	247.433

### 3. みちのく EMS に関する情報

#### 環境活動の取り組み体制

##### ◎組織図



#### みちのく EMS 登録情報

項目	詳細
認証年月日	2022年10月29日 認証登録
認証登録番号	22010
有効期間	2026年10月28日
登録範囲(サイト)	本社(宮城県岩沼市下野郷字中野馬場34番地の48)
適用業務	産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業、産業廃棄物の中間処理業、金属リサイクル業及びこれらに付随する一切の業務
環境報告書の対象期間及び発行日	2024年度(2024年9月~2025年8月) 発行日: 2025年9月10日
運用管理体制	管理責任者: 常務取締役 佐藤 知己 内部監査責任者: 鈴木 啓木(法規制担当兼任)

# 環境方針

## Five pillars

五本柱

「仁」 みんなの納得がいくまで追求し、結果を最善の愛情を持って受け止め、手助けする。

「義」 できる事から矢面に立ち、自分の視点から意見を持って、照らし合わせていく。

「礼」 様々な結果に対応する覚悟を胸に、最善を尽くす自信を理想として持つ。

「智」 実践と体験から、責任と磨かれ培われた直感を、判断と創造の意志とする。

「信」 覚悟と理想をもった意志で、経験の価値を構築して、信用をも超えた信頼を獲得する。

1. 環境マネジメントシステムの確立と継続的改善に取り組み、環境パフォーマンスの向上及び汚染の予防に努める。
2. 順守義務への適合を確実にする。
3. 当社が行う企業活動に係わる環境影響の内、環境保護に関する重点項目を環境目標に設定し、見直し、維持する。
4. この環境方針は社員、取引先社員に周知する。
5. 本方針は、要請があった場合には一般に配付する。

2022年6月1日

株式会社 佐藤金属

代表取締役 佐藤 克己

## 環境目標

目標	基準年度 2023 年度 2023 年 9 月～2024 年 8 月		項目	2024 年度 2024 年 9 月～2025 年 8 月		2025 年度 2025 年 9 月～2026 年 8 月		2026 年度 2026 年 9 月～2027 年 8 月		実施事項 (日程含む)
	目標	実績		%	%	%	%	%		
再資源化率(%) 毎年 基準+1%	82.71	% kg-CO2/年	目標	83.71	%	84.71	%	85.71	%	①選別（手選別）の徹底 ②再資源化により、有価として出荷
			実績	94.65						
二酸化炭素排出量の削減 kg-CO2/ 年 毎年 基準 - 1%	121,899	kg-CO2	目標	120,680	kg-CO2	119,461	kg-CO2	118,242	kg-CO2	①効率的な処理 ②選別（手選別）の徹底 ③アイドリングストップ
			実績	115,308						
廃棄物排出量目標 (kg) 毎年 基準 - 1 kg	330	kg	目標	329	kg	328	kg	327	kg	①満杯になるまで捨てない ②私物は持ち帰りを原則化
			実績	280						
水の使用量削減 m³/年 毎年 基準 - 0.5 m³	302	m³	目標	301.5	m³	301	m³	300.5	m³	①流しっぱなしをしない ②節水活動
			実績	324						

CO<sub>2</sub>排出係数

軽油	2.58	温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン
ガソリン	2.32	温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン
灯油	2.49	特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令
電気	0.428	電気事業者別排出係数一覧 R3 年提出用
ガス(LP)	5.884	温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン

軽油:2.62

ガソリン:2.29

灯油:2.50

LP ガス:2.99

算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧 [https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran\\_2023\\_rev4.pdf](https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2023_rev4.pdf)

電気:0.477

電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)-R4年度実績- R5.12.22 環境省・経済産業省公表、R6.7.19 一部追加・更新 東北電力 [https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/r06\\_denki\\_coefficient\\_rev8.pdf](https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/r06_denki_coefficient_rev8.pdf)

## 2024年度 2024年9月～2025年8月の活動実績

目標	目標値	実施事項(日程含む)	実績	評価
再資源化率(%) 数量把握	83.71%	① 選別(手選別)の徹底 ② 有価として出荷	94.65%	達成
二酸化炭素排出量の削減 数量把握	120,680kg-CO2	① 効率的な処理 ② 選別(手選別)の徹底 ③ アイドリングストップ	115,308 kg-CO2	達成
廃棄物排出量目標(kg) 数量把握	329kg	① 満杯になるまで捨てない ② 私物は持ち帰りを原則化	280 kg	達成
水の使用量削減 m <sup>3</sup> 数量把握	301.5 m <sup>3</sup>	① 流しっぱなしをしない ② 節水活動	324 m <sup>3</sup>	未達成

### 活動の評価

#### 再資源化について

破碎前の前処理(手解体～選別)を徹底し、破碎機投入、破碎後の光学選別によるより有効な選別が効果を発揮した結果、受託した廃棄物の再資源化は目標を達成できた。

#### 二酸化炭素排出量の削減について

受託増による取り扱い量増加や、東北地区北3県及び、新潟県、栃木県、埼玉県の収集運搬受託も増加した事により、車両軽油使用量、電力消費量が増加傾向にある。

#### 事業系一般廃棄物の排出量の削減について

廃棄物の排出量は新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、弁当利用等通常体制に戻った為、事業系一般廃棄物の排出量が減少した。

#### 水の使用量削減について

事務所棟を高所作業車利用にて高圧洗浄を行い、また、車両塩害防止の一環で冬場の洗浄機会が増えた事により使用量が増加した。水の使用量目標未達となった。

#### 再資源化について

受託した廃棄物の再資源化については手選別を継続して徹底することにより光学選別の効果を最大限に引き出して再資源化の向上に取り組んでいく。

#### 二酸化炭素排出量の削減について

収集運搬については効率的な回収を心掛け、エネルギーの効率的な消費を目指す。アイドリングストップを活用することでエコドライブを実践し移動のエネルギー消費を抑えていく。光学選別機の消費電力が予想されるが、効率的な処理を実践し、目標達成に取り組んでいく。

#### 事業系一般廃棄物の排出量の削減について

無駄なごみは出さないように意識は統一されている。容器包装等のプラスチック分別を実践し、資源の有効活用と排出抑制に心掛けていく。

#### 水の使用量削減について

清掃活動、熱中症対策等一時的な使用増加が有ることも想定されるが、これまで通り節水の意識をもって活動していく。

## 順守義務への取組み状況

調査日:2024年9月3日

順守評価:2024年9月9日 順守評価の結果、不順守事項はなく順守義務は満たされていた。関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は創業以来なく、また、運用管当該年度中もなかった。

対象:本社業務、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業、産業廃棄物の中間処理業、金属リサイクル業

順守義務	適用条件	実施事項	適用	評価	備考
廃棄物 処理法	収集運搬 汚でい、廃油、廃プラスチック、木くず、紙くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、燃えがら、廃アルカリ、廃酸、鉛さい、石綿含有産業廃棄物(重量比0.1%超)、水銀使用製品産業廃棄物(廃蛍光ランプ等) 【特別管理産業廃棄物】廃アルカリ、廃酸、廃油	<ul style="list-style-type: none"> <li>排出事業者と収集運搬契約の締結</li> <li>委託契約書の内容確認(委託金額、産業廃棄物の種類、性状、性状等変更情報の伝達方法等)</li> <li>収集運搬車両の登録管理</li> <li>収集運搬許可情報の車両への掲示</li> <li>飛散防止</li> <li>マニフェストの管理(発行、回収、保管など)</li> <li>実績報告(前年度実績、毎年6月30日までに)</li> </ul>	○	✓	
	中間処理 廃プラスチック、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	<ul style="list-style-type: none"> <li>排出事業者と処理委託契約</li> <li>委託契約書の内容確認(委託金額、産業廃棄物の種類、性状、性状等変更情報の伝達方法等)</li> <li>許可情報の掲示(看板等)</li> <li>保管基準準拠</li> <li>マニフェストの管理(送付、保管など)</li> <li>実績報告(前年度実績、毎年6月30日までに)</li> <li>処理困難通知</li> <li>施設の維持管理(土間コン)</li> </ul>	○	✓	
	2次委託 廃プラスチック、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次委託先との処理委託契約</li> <li>収集運搬及び処分業者の許可証の確認</li> <li>施設能力等の公開情報の確認(処分状況の確認)</li> <li>委託契約書の内容確認(委託金額、産業廃棄物の種類、性状、性状等変更情報の伝達方法等)</li> <li>処分場及び処分状況の確認(優良産廃認定事業者は除く)</li> <li>処理場等の現地確認</li> <li>マニフェストの管理(発行、回収、保管など)</li> <li>交付状況報告(前年度実績、毎年6月30日までに)</li> <li>処理困難通知の受理</li> </ul>	○	✓	
	事業系一般廃棄物の廃棄	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業系一般廃棄物として廃棄</li> </ul>	○	✓	
資源有効 利用促進 法	金属リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源のリサイクル</li> <li>分別のための表示</li> <li>副産物の有効利用の促進</li> </ul>	○	✓	
プラスチック 資源循環 促進法	排出事業者による排出	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスチック使用製品産業廃棄物等の適正処理</li> <li>積極的なプラスチック使用製品産業廃棄物等の排出抑制及び再資源化</li> </ul>	○	✓	

順守義務	適用条件	実施事項	適用	評価	備考
容器包装リサイクル法	一般廃棄物である容器包装廃棄物を対象とする	・事務所の自動販売機等の缶・ペットボトル等の分類 ・市町村が定めた分別の基準に従い容器包装廃棄物も適正に分別排出する	○	✓	
家電リサイクル法	特定家庭用機器 テレビ(液晶・プラズマ含)、エアコン、電気冷蔵庫及び冷凍庫	・小売店へ料金を支払い引き渡す又は自治体指定の方法で引き取り依頼する ・指定業者による廃棄	○	✓	
小型家電リサイクル法	使用済小型電子機器 パソコン、携帯電話、デジタルカメラ、CDプレーヤー等々	・具体的な回収品目や回収方法は市町村により異なり、品目によっては手数料あり ・指定業者による廃棄	○	✓	
自動車リサイクル法	自動車の使用	・購入時にリサイクル費用を支払う	○	✓	
下水道法	トイレの使用による下水道の使用	・適切な使用	○	✓	
オフロード法	協力会社の持ち込み建設機械など	・適合証明 ・平成18年4月施行前販売証明 ・「2011年規制」 新車規制で平成23年10月以降	○	✓	
フロン排出抑制法	第Ⅰ種特定製品の使用	・簡易点検 ・整備点検記録	○	✓	
道路交通法	道路の使用	・道路使用許可の取得	○	✓	
	道路環境保全	・過積載防止	○	✓	
自動車NOx・PM法	自動車の使用	・NOx・PM法適合車両の使用	○	✓	
高圧ガス保安法	内容積20以下ボンベやコンプレッサー内ボンベなどは除く	・危険時の措置と届出 ・転倒防止	○	✓	
消防法(危政令)	指定数量 第1石油類ガソリン等:200L アルコール類:400L 第2石油類灯油、軽油等:1000L	・指定数量以下の保管 ・市町村条例(火災予防条例)で定める指定数量の1/5以上、指定数量未満の場合、あらかじめ消防長(消防署長)に届け出	○	✓	
	指定可燃物 可燃性固体 3000kg	・指定数量以下の保管 ・市町村条例(火災予防条例)で定める指定数量の1/5以上、	○	✓	
	圧縮エチレン:40kg以上、生石灰:500kg以上他	・あらかじめ、所轄消防長又は消防署長に届け出	○	✓	
	電気・ガスによる溶接、溶断作業	・火災防止	○	✓	
計量法	トラックスケールの使用	・2年に1回の検定	○	✓	2022年10月検定合格
古物営業法	金属リサイクル	・営業許可の維持 ・盗難物の買取禁止	○	✓	
労働安全衛生法	危険を伴う作業 化学物質を含む製品の使用 バックやクリーンの使用 要員の安全衛生	・特別教育、技能講習、有資格者による作業	○	✓	
		・特定自主検査、月例点検、始業前点検	○	✓	
		・SDSの取寄せ、化学物質リスクアセスメント	○	✓	
		・健康診断の受診	○	✓	
		・保護具の着用	○	✓	
		・熱中症対策	○	✓	
新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン	感染予防	・3密(密接、密集、密閉)の回避 ・換気、手洗い、咳エチケット等の感染防止行動 ・マスクの効果的な場面での着用	○	✓	

## 内部監査・外部監査の報告

内部監査 : 2024年9月10日  
監査場所 : 本社  
適用規格 : みちのくEMS(第3版) 2016年10月7日  
みちのく EMS(第3版) エコアクション21 産業廃棄物処理業者の相互認証附録書  
2020年6月30日  
対象業務 : 産業廃棄物の収集運搬及び中間処理、金属リサイクル業  
監査チーム : 内部監査員2名(みちのくEMS内部監査員養成講座修了)

## 外部審査

名称 : みちのくEMS 優良産廃更新審査  
監査日 : 2024年9月11日  
監査結果 : 指摘事項なし

## マネジメントレビュー

2025年9月1日に実施 2024年度(2024年9月~2025年8月)の活動の見直しを行った。

## 見直し評価

環境方針、EMSは現在のものを継続していく。

## コミュニケーション

2024年5月21日 産業資源循環協会 総会  
2025年5月26日 宮城県再生資源商工組合 総会  
2025年6月26日 みやぎ工業会 総会

以上